

# 2024年度実施 卒業生調査報告（2025年3月1日）

桐朋学園大学音楽部門キャリア支援センターは、学部卒業後4年時点の卒業生に対して、アンケート調査を実施しました。

進路状況、在学中の学びと現在の社会人生活との関連についての回答、そして在校生への実感のこもったメッセージも多々お寄せいただきました。ご回答くださった卒業生の皆様には厚く感謝申し上げます。これからの教育改善の指針として、ご回答いただいた内容を今後の教育に反映して参ります。

桐朋学園大学キャリア支援センター長 杵鞭広美

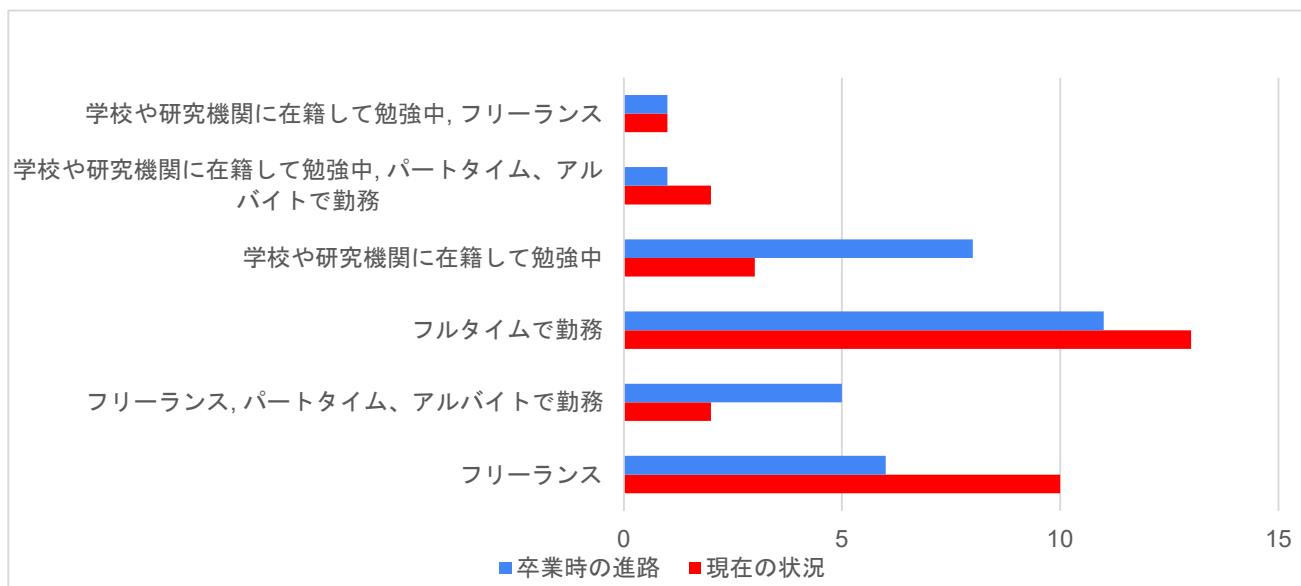
\* 実施時期：2024年12月～1月

\* 調査方法：ハガキおよびメールで、グーグルフォームへの記入の形で協力を依頼

\* 対象：2020年度卒業生155名 うち回答33名（回答率21%）

## 1. 進路状況

学校や研究機関で勉強を続けている人は、4年後の現在も半数近くいる。  
また、現在フリーランスで活動する人の数は卒業時の倍近くになっている。



## 2. 在学中の学びについて

### A. 在学時のどのような授業が、現在に役立っていますか。(複数回答可)

ソルフェージュ等の専門科目や演奏に関する学び、また企画実践したことが現在に役立っているとする回答が多い。在学中に音楽の専門性や豊かな感性、課題解決能力を身につけられたと感じる人が多い一方、幅広い教養に関しては比較的少ない。コロナ禍の影響を大きく受けた学年ということもあり、演奏や課外活動が限られてしまったケースも多い。



\* 上記「役立っている科目」についての、具体的な科目名や実践内容

### 【音楽学やソルフェージュ】

- ・音源から楽譜を起こしたり、楽譜内で明らかにおかしい音を事前に直せたりする
- ・配信や介護施設等の演奏でリクエストを頂いた時に、ソルフェージュ能力が試される

### 【語学】

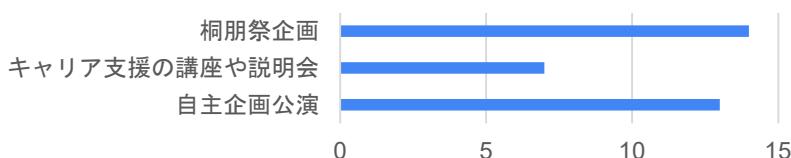
- ・学習の方法に様々な選択肢があったことは、海外に出ることを目指す人にとって素晴らしい環境だった

### 【実技、マスタークラス】

### 【その他】

- ・教職授業
- ・体育実技
- ・「声の生理学」授業

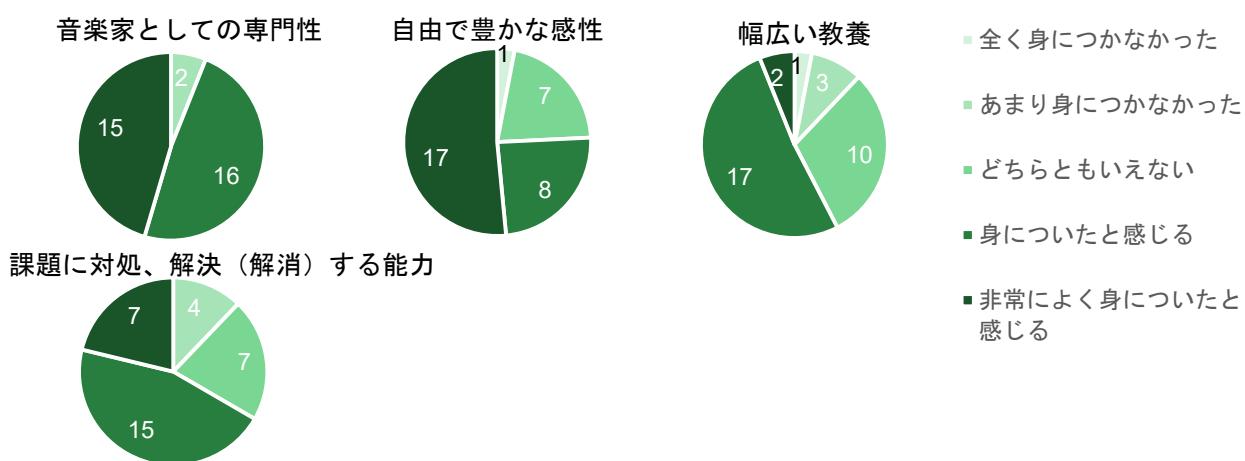
## B.カリキュラム外の、どんな学びや活動が現在に役立っているでしょうか。（複数回答可）



### 【その他】(自由記述)

- ・高3ミュージカルでの企画や運営の経験
- ・演奏活動、コンサートを聞きに行くこと
- ・コロナ禍などもありあまり授業外の活動には参加できず残念
- ・図書館での資料の利用

## C.在学中に以下の資質はどのくらい身についたと言えるでしょうか？



## D.在学中に学習しておけばよかったと思うこと（自由記述）

### 【教養・事務・ビジネス面】

パソコンのスキル（エクセルなど）

アートマネジメントについて深く勉強しておけば良かった

税金、契約書について

音楽教室の経営方法

一般就職はもちろん、音楽のフリーランスでも、読み書き計算に抵抗がないレベルの一般常識は必要

音楽家としてフリーランスで仕事するにあたってのビジネス的な視点

語学について更に実践的な場や授業があると、より視野が広がったのかなとも思う

演奏活動のための営業の仕方

### 【実技、音楽全般】

いろんな楽器と一緒にたくさんアンサンブルをすればよかった

和声、編曲、作曲

指揮

もっとたくさんオーケストラの実践をしたかった（コロナ禍で叶わなかった）

## 【その他】

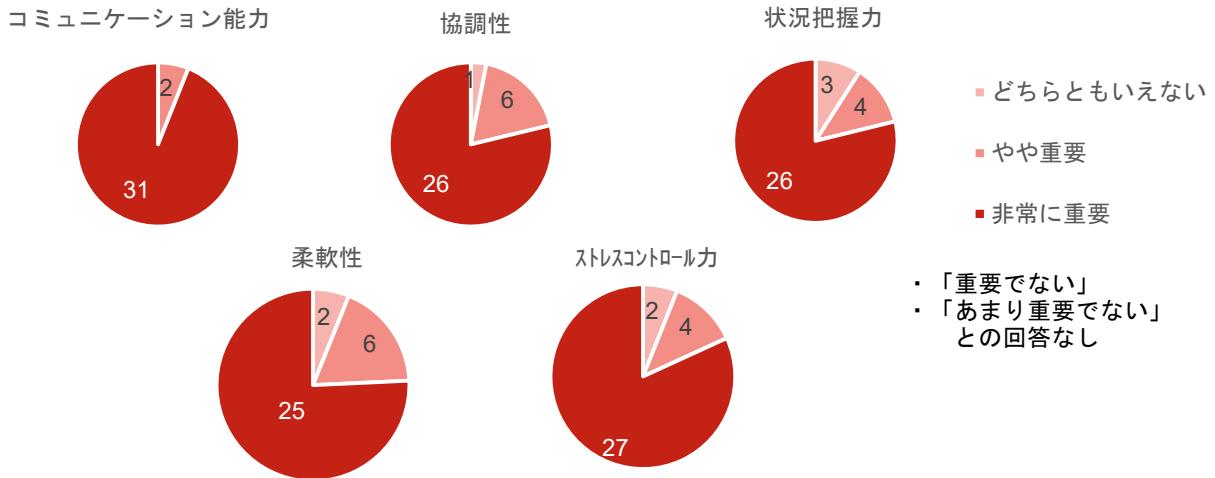
インターン等を通した社会勉強

桐朋の環境を有効活用するためにも、自主的に学ぶことのできる力を養うことは大事なこと

## 3. 現在、仕事や音楽活動などをする中で感じていること

A. 卒業後の経験を踏まえて、次の能力は社会でどのくらい重要だと感じますか？

(重要でない、あまり重要でない、どちらともいえない、やや重要、非常に重要な5項目から選択)



## 【重要だと感じる理由】

演奏でも講師業でも、いくら上手くてもコミュニケーション能力がなければ仕事なんてないと実感した。

会社に勤めているわけではないので誰も助けてくれないし全て自己責任で生きていかなければならない。

音楽の世界に限らずですが、社会人になるとより一層責任感や柔軟性が必要になるのかなと思います。

アーティストとして、先輩やマネージャーとのコミュニケーション能力、挨拶など色々な部分に気を使う。

卒業後、様々な人と関わりたくさんの仕事を任される上で上記の事は必要不可欠だと感じたから。

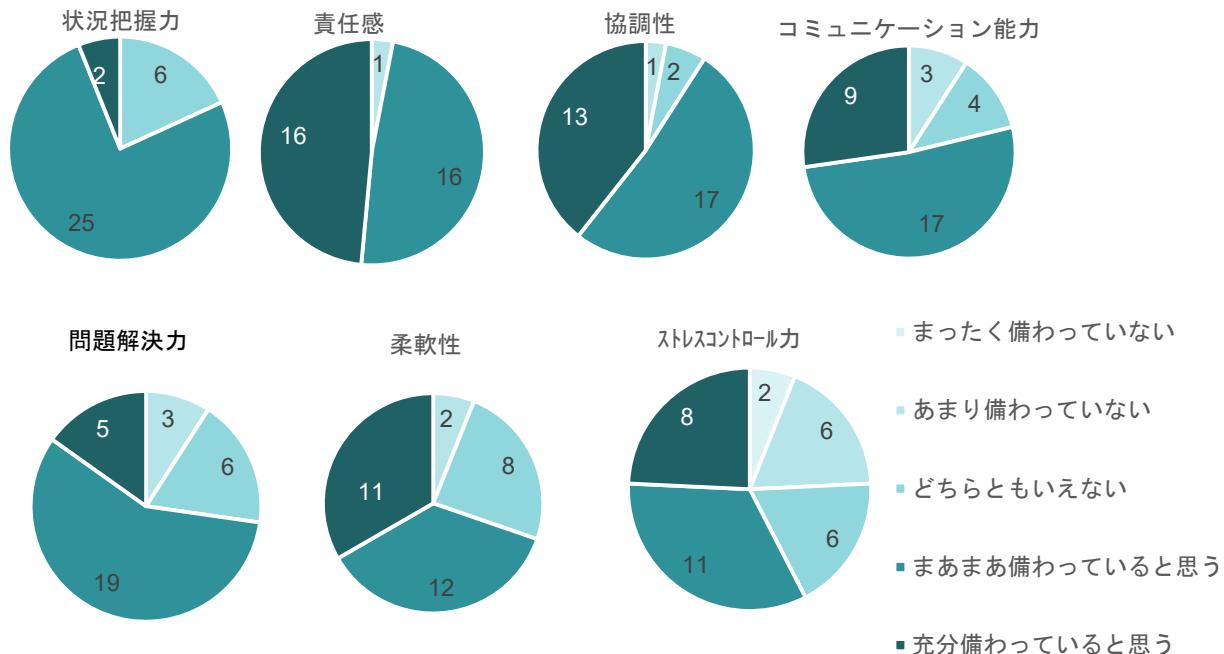
オーケストラの現場において、全てを兼ね備えた方たちの集まりだと感じます。

会社で働いていて協調性やコミュニケーション能力は一般大学卒業者に比べてどうしても劣っていると感じます。

音楽家として食べていく上で必要不可欠だから。技術的なことは学べるが、上記のことは自ら積極的に吸収しようといいと得られない能力だから。

社会人として組織で働くにあたり、価値観の異なる他者と一つの課題に取り組むためには、周りの意見などをうまく取り入れながら遂行する必要があります。また、立場によってはチームを動かしていく場面もあるため、協調性、責任感は特に重要ですが、上記の要素はどれもバランスよく備えておく必要があると思います。

## B. 下記能力に関して、現在のご自分についてお答えください。



## C. 最後に、在校生へのメッセージをお願いします。

いっぱいアンサンブルしていっぱい文化祭の企画乗って、一日中音楽に触れて、大学生活enjoyしてください！大学のうちにいっぱいお友達作って、可能な限り動けば動くほど未来に繋がると思います！！

就職活動に対して不安を抱えている学生もいらっしゃるかもしれません、これから自分がどうなっていくのか考え方行動することが大切になります。自分に自信を持って頑張ってください！

一般就職を考えるのであれば、WordよりExcel使えるようになっていた方が良いと思いました。

早いうちから自分が将来どうなりたいかを考え始めてその道を先に進んでいる先輩達にお話を聞いたりして自分がなりたい将来の姿を想像しながら学生生活を楽しんでください。

いろんな人がいる空間で、できる限りの経験をしてほしいと思います。何事もすべて身になります

コロナ禍に卒業し、卒業後はピアノ講師をしながら音楽活動や自己研鑽、アルバイト等必死な日々を送っておりました。周りは留学や一般企業に就職を決めていく中で、自分の人生への迷いや焦り、社会への不安もあり辛い時期も多々ありました。今は念願の留学が叶い、毎日発見に溢れたとても充実した日々を送っております。

本当に人生様々なことがあります、常に自分と向き合って、本当にやりたいこと、自分のなりたい像を日々強くイメージしていれば、きっと誰かが見ていてくれます。感謝の気持ちを忘れず、進みたい道を決めてまっすぐ歩まれてください。私も頑張ります。

色々な進路があり、迷うこともあると思いますが、学べることはしっかりと学んでほしいなと思います。これから将来に不安を抱いて真っ暗な道に時にはなることもあると思いますが、自分だけは見失わないように、信じる道を突き進んでほしいです。

ネット社会で簡単に情報に飲み込まれてしまう環境にありますが、自分自身に対して常に敏感であることが大切だと考えています。音楽に限らず様々な分野の芸術に直に触れたときに、何かピンときたり、なんとなく私はこれが好きだな、というような感情、直感をいつも大切にしていると、自ずと自分のやりたいことや目指したいことが見えてくるのではないかと思います。

フリーランスとして生計を立てていきたいのであれば、技術を身につけること以外の勉強でも頑張りが必要だと思います。確定申告のやり方、自分の売り込み方、人と演奏する際のコミュニケーション力等、(演奏技術を高めることと無縁で)一見無駄と思えることにも取り組んでおくべきだと思います。

当時は進路決定にあたり、音楽以外の道に進むことに対して、なぜ音大に進んだのか?と疑問を持たれることも多く、私自身も一時は大きく悩みました。ですが、様々な経験を通して、私自身は音大での学びは一生の財産であり、無駄になることはなく、音楽を仕事にしなくとも、別の形で続けることは十分に可能であると思えるようになり、音楽を続けるための手段として、音楽以外の学問について学ぶため進学いたしました。専門性の高い学校で4年間学ぶことは将来とても強い武器になると思います。広い視点を持って将来を見据えて学生生活を送ることが大切であると感じました。

幅広い選択肢を視野に入れて、自分なりの進路を考えてみてください。就職してお金を稼いで演奏活動を続ける選択肢もあります！